

コース別訓練計画表

コ	ー	ス	名	定	員	日	数	時	間	数
第一種電気工事士筆記試験直前準備				10名	3日			18時間		
訓練目標	第一種電気工事士筆記試験合格に必要な(電気理論、配電理論、配電設計、電気応用、電気機器、高圧受電設備、電気工事の施工方法、自家用電気工作物の検査方法、発電・送電・変電設備、保安に関する法令、鑑別・選別)知識の習得									
到達水準	第一種電気工事士筆記試験合格に必要な電気理論、配電理論、配電設計、電気応用、電気機器、高圧受電設備、電気工事の施工方法、自家用電気工作物の検査方法、発電・送電・変電設備、保安に関する法令、鑑別・選別について知っている									
対象者または前提知識・資格	第一種電気工事士筆記試験受験者の方									
細目	内 容							時間数 (目安)		
電気理論	計算の基礎、電線の抵抗、抵抗回路、電磁気、コンデンサ回路、電力・電力量・熱量、交流回路、三相スターデルタ結線、スターデルタ等価変換							2時間		
配電理論、配電設計	配電一般、単相3線式配電路、電力損失、電圧降下、力率改善、需要率、不等率、負荷率、架空電線路の強度計算、屋内配線の設計							2時間		
高圧受電設備	高圧受電設備の構成・器機、高調波対策、主遮断装置、保護協調、三相短絡電流、遮断容量、高圧用配線材料、低圧配線材料							2時間		
電気工事の施工方法	低圧屋内配線工事、電線の許容電流、電線の接続、漏電遮断器の施設、接地工事							2時間		
自家用電気工作物の検査方法	電気計器の種類・接続、倍率器、分流器、電力計、電力量計、接地抵抗・絶縁抵抗の測定、絶縁耐力試験、定期点検、継電器の試験							2時間		
発電・送電・変電設備	水力発電、ディーゼル発電、コージェネレーションシステム、汽力発電、ガスタービン発電、新エネルギー発電、原子力発電、送電・変電設備							1時間		
保安に関する法令	電気事業法、電気工事士法、電気事業法、電気用品安全法							1時間		
配線図	高圧受変電設備の単線結線図・複線図、制御回路の基本事項							5時間		
鑑別・選別	高圧受変電設備の器機・材料、低圧工事事用材料・器機、電動機制御回路用機器、工具、検査用測定用計器							1時間		
								18時間		
受講者に準備いただくもの	筆記用具									
使用テキスト・教材等	第一種電気工事士筆記試験完全マスター 第1版 (オーム社)									
使用機器・材料等										